



# 育友会便り

Vol.33 平成26年6月6日  
尾道市立長江中学校育友会  
Tel:37-3971 Fax:37-3970  
E-mail:nagae-j@onomichi.ed.jp

## 新年度がスタートしました!

長江中学校では夢いっぱいの新入生 **94名** (男子56名 女子38名) を迎え  
全校生徒 **268名** で平成26年度をスタートしました

### 「褒める」「認める」を実践するために!

皆さんは褒められるのと、貶(けな)されるのではどちらが良いですか? 「そんなことは言うまでもない」と思うかもしれませんが、日頃、相手を褒める・認めるということをご確認ください。

人は褒められると嬉しくなります。誰かに褒めてもらえるだろう、認めてもらえるだろうと感じている時は、辛く苦しいことであっても乗り越えていくことができます。認められたい欲求を満たそうとして活動しているのです。

欲求は感情です。個人の能力ではありません。理屈ではなく、欲しかった反応や言葉を受け取ると心が満たされ、嬉しくなり自然とやる気が湧いてくるのです。やる気というのは人間関係から生まれてくるものなのです。

相手にやる気を出して欲しい時は、相手を褒めて認めて人間関係を良くすることが鍵となります。さあ! 授業参観や懇談会・行事に参加し、子どもを褒める環境を整えてみませんか? 長江中学校の保護者なら出来ます!

尾道市立長江中学校 育友会 会長  
安藤 能 孝



### 『飛 躍』

「凛とした『元気・感動・温もり』のある長江中」を目標に掲げ、2年目を迎えました。保護者の皆様には、本校教育に御理解・御支援いただき、厚く感謝を申し上げます。

昨年度、生徒の夢や希望の実現に向けて、より質の高い教育を目指して研修や教育実践に取り組んできました。しかし、卒業生全員の希望を実現する事は出来ませんでした。

今年度は更に目標に近づけるよう、生徒会スローガン同様、教職員も一層の「飛躍」を目指します。そして、卒業する生徒だけでなく、全ての生徒が「この学校を選んで良かった」「この学校で学んで良かった」と思えるよう、時に厳しく、時に温かく、生徒を鍛えていきます。そのためにも、我々教職員自身が長江中で働いている事を誇りに思い、やりがいと喜びをもてるよう、学び続けて参ります。

各御家庭におかれましては、子どもさんがこれまでの自分を越え、夢に向かって挑戦していくように、自立した一人の人間として生活できるよう、見守っていただきますようお願いいたします。

尾道市立長江中学校 校長  
米 谷 剛



## 1年生 スタートアップ合宿

私は今回のスタートアップ合宿で仲間と協力し合うことを学びました。大縄やカレー作りで上手いかななくても声をかけ合うことができました。これからの生活では、難しいことや大変なことがあっても仲間と協力し、いろいろなことをやりとげてみんな嬉しさを分かち合えるようにしたいです。 1年1組 西田 芽生

スタートアップ合宿では、みんなで協力し何かを達成する大切さを学びました。これから生かしたい事は、集中勉強会を通して学んだ、1時間でも良いから静かな環境で勉強することです。これを、家での学習の時に生かしたいです。 1年2組 西原 未希

合宿のウォークラリーでは、班の全員が楽しく協力する事で、みんなが心をつなげる事が出来る。そして、やりとげる事が出来ると学びました。また、美化係の仕事を通して、一人一人が仕事をやりとげることで、みんなが気持ちよくなる事が分かりました。 1年3組 中川 遥

4月24日(木)・25日(金)  
広島県立福山少年自然の家

